

文化通心



写真撮影／藤井照芳

もったいない もったいない

ひょうきんな格好で練り歩く
「あばれみこし」の先頭は、肥料の
紙袋で作った袴姿の神主さん。
やぶれ傘をさしかけるお供を連れて、
晴れの参道を行ったり来たり。
ボロをまとった若者たちは、竹、ワラ、
里芋のズイキで組んだみこしに、
飾った花をゆらせて
もったいない
もったいない
もったいない。

20

1998年12月1日(季刊)

●発行所：
財団法人中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212



平成十年度

財団賞決定

贈呈式行われる

平成十年十月三十日(金)午前十時三十分より中條文化振興財団茶室「晴松亭」において第六回財団賞の贈呈式が行われた。財団賞は地域文化の振興発展に寄与した者、または団体に贈られるもので、例年二名(団体)が選出されていたが、今回は長尾町教育委員会推薦の「塚原稲荷神社あばれみこし保存会」の一団体に決定した。

保存会の代表、橘和雄氏に賞状及び奨励金が当財団理事長木村等より贈呈された後今年の祭りの様子がビデオで紹介された。橘氏は、今後地域文化の若者を中心に素朴な祭りを存続させたいと決意を述べられた。

また、当日は第五回助成金交付団体への認定書授与式も行われた。文化活動育成事業としての助成金交付団体は、今年度は次の三団体に決定した。

- 劇団プッチュミュージカル(津田町)
- 劇団タイムステップ(高松市)
- 隅照会(観音寺)

また、財団では新たに学術文化振興特別助成金の公募が開始されている。



平成十一年度財団賞の推薦・助成金交付申請についてのお問い合わせは、財団事務局まで

【☎(087) 826・3355】

長尾町塚原

「あばれ御輿」について

ボロをまとい、顔を歌舞伎役者まがいに化粧して、木・竹・わら・里芋のじくを骨組にして、たくさんの花で飾った御輿をかついで、「もったいない、もったいない、」と唱えながら、塚原稲荷神社の神輿の前になり後になりして参道を練り歩き、途中の谷池の堤で大活劇を演じる、豪快・滑稽な渡御で知られるのが、長尾町塚原の「あばれ御輿」である。

わたしは一九五〇年頃から、この祭りに注目してきたが、明治中期生まれの人の伝承を聞くにつけても、よくぞ今まで継承してきたものよと敬服するばかりである。

自然の恵みに感謝し、人々の命とムラの暮らしを護ってくださる神、人々を脅かす厄神などを迎えてもてなす営みが祭りであるが、昔からの野趣に富む祭りを今日に伝えているところは、県内でもそう多くはない。

あばれ御輿の出る塚原の祭りは、庶民のくやし涙を手唾に替え、庶民の喜びをより大きな歓喜に増幅して、ムラの活力にしている。運命共同体の時代から、個人尊重の自由社会に移行するなかで、常に敬虔な心と連帯感を忘れずに、時代相にぎりぎりの適応してきたことは感嘆に値する。

それは、はるばる瀬戸内海を渡っておいでになった原始の神の話と、後世の勦

請神を融和させ、季節の折り目ごとに、子供や若者が仮小屋をつくってお迎えしたり、芝居の舞台を設け、旅の芸人を定住させて、歌舞伎から新派への流れを受け入れながら、芸を磨いて奉納を続けたのである。

「あばれが出ないとムラがあれ」のことは、たびたびの受難の事実を語り継いだものである。そして、自然の力の偉大さに、先祖のありがたさに報いるには、人々がひとつ心になることだとの合意の継承が、今日の姿になっているのだと信じる。

塚原に生まれた人は、祭りには子供は奴、若者は獅子を舞って、ムラの悪魔払いをすること、壮年には、老境に達すると……などと、年齢階梯ごとの役割を継承してきた。ムラの休み日が神遊び日から労働休養型のものに変わっても、休みの日の管理やムラの災害救助には若者がそ

時代の推移から、ムラの人々の職業が多様化した。若者層の減少傾向から、そうした、行事伝承の数は少なくなつたが、一連のムラシゴト関連の延長線上にこの「あばれ御輿」があるのは間違いない。明治のご維新、大正の地方改良運動、戦後の生活改善と、習俗改良の時世に沿いながらも、人の基本、ムラの自治の実践があつた。そこに、当世のイベントとの違いがある。

「あばれは若衆」との伝承であるが、若者の数の減少で、今日では白髪頭の若者が出現したが、人がいらないから止める気運ではないのである。活劇を演じるのは本当の若者に託して、御興つくりや顔つくり、その他もろもろの裏方を、腰がまがり始め

特に、谷池周辺の動きが、あばれ御輿のクライマックスである。

普段着や祭り着姿で池に投げ込まれる場面は、見る人をはらはらさせるのであるが、意外に紛争を生んだ話はない。地元の人か旅の人は、お神酒に酔っていても、そこに世話する人がいるのである。

思いがけず池に投げ入れられた人には、必ず案内があつて、ずぶ濡れになつた人も祭りの供物をとものに頂戴する直会（なおりい）には、笑顔で一升をさげて出席するのである。

こうして、毎年十月第二日曜日には、ムラ人は、歴史との対話を繰り返すのである。

長尾町 藤井洋一



■にぎやかなお祭りを見て
いると、何だかパワーが伝
わってきそうで、元気が出
ますよね。あばれみこしに
は、そんな元気をいっぱい
もらえました。最後に池の
中に投げ込むのは、ミソギ
の儀式でしょうか。文句な
く楽しめました。

林田大美子さん

■誘われて、おもしろそうなので行ってみたけど、ほんとに笑っちゃった。あばれみこしが何度も行ったり来たりするので、見物人はその都度、わあわあ、きや

あきやあ。
のどかで賑やかな里の秋を
満喫した日だった。

竹森 光子さん

- 山ふところ
ここに奇祭のあれみこし
- あれみこし
にわか神主下駄草履
- もったいないの
声もみこしも湖およぐ
- 塗り込めの
顔べたつきぬみこしかき
- 行人を
湖曳き込む奇祭かな

香西みのるさん

■ 何年ぶりかのお祭りの撮
影だった。それにしても見

物客と同じぐらいの数のアマチュア写真家達には驚いた。我先に前に飛び出しアツプを狙っている。日頃、静物や風景撮影の多い私には、この雰囲気慣れるのに暫く掛かってしまった。

藤井 照芳さん



讃岐の宝

枯淡にして幽玄なもの

木守茶碗



楽焼の祖・長次郎四百年忌記念
長次郎展・図録より

来年もよく実るようにと、柿の木にひとつ取り残した実を木守りというが、豊饒への祈りと感謝の秋の風景が、讃岐に伝わる丹彩の美しい茶碗になった。

利休の精神を具象化した楽焼茶碗を門人諸侯に選り取りらせて、ひとつ残ったものを『木守』と名付けて愛用し、それが武者小路千家（官休庵）に伝わった。讃岐・松平家に献上された後も、歴史の襲名披露の茶事には藩主に拝借を願い、槍将を従えたお茶碗道中を葵紋の幔幕を張った玄関に迎えて、儀式の席に光彩を添えてきた。

茶碗は大正十二年の関東大震災で惜しくも粉砕したが、楽家十三代惺入は陶破片をはめ込んで補造した。まさに「造る人・使う人・持つ人」たちの熱い思い入れが時空を越えて結集し、『讃岐の朱い実』を文字通り火の中から不死鳥のように蘇らせ

た。（編集子）

(編集子)

財団法人あ・れ・こ・れ

貸茶室で

プレイバッハ in お茶室

十月十三日(火)



演奏は杉野晶子さんによるバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ

十月半ばともなると陽の暮れるのがすっかり早くなって、夜のしじまにキンモクセイの香りが漂う秋の宵。その秋の夜長にヴァイオリンの演奏は如何と「いつもの会」が企画。

常連客たちは「こんばんわ」と挨拶を交わしながら立礼席に通る。電灯の光が暖かく感じられる季節なのに、超満員の人の熱気に慌てて冷房のスイッチをさがす一幕は、盛況ぶりを物語ってうれしい悲鳴。床間には秋の残花が、こぼれんばかりに生けられて、若い演奏家に文字通りの「華」を添える。

アメリカ全州から選抜されて、日本研修中の学校の先生たちも、なごやかに参加。音楽とお茶のもてなしに、みなさん大喜び。



主催者のねらいはもうひとつ、日本家屋「晴松亭」で聞く西洋楽器の響き。壁土や木の床、障子紙などが音をやわらかく吸収して、やさしい音を届けましょうという試み。

演奏会の後は余韻に浸りながら、露地の明かりを透かして楽しいおしゃべり。お薄やコーヒー、紅茶などが出されたが、手作りで添えられた和菓子やクッキーが、この座に盛られた美味な「花」だったようだ。

煎茶を娛しむためのワークショップ

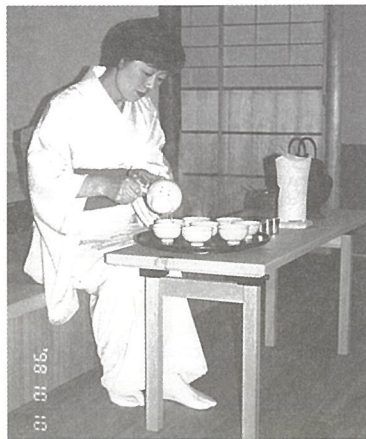
十月十日(土)



ユーモアをまじえた楽しい話の後には、佃宗匠自ら実技指導。見守る受講生の緊張を、優雅な点茶ぶりではぐすひととき。

社団法人・茶道花道連盟の実技指導講習会が、一茶菴家元嫡承・佃一輝宗匠のご指導のもとに、四国で初めて開かれた。「葉茶の違いが面白い」をテーマに、素材(葉の種類)を知ることによって、扱い(入れ方)の違いのあることを勉強した。

立礼席に変わって本格的な実技指導。



香川大学表千家茶道部月釜

茶の湯に興味を持つ若い人が少ないと嘆く方が多い中で、専任教授の高野宗禎先生の下には80名以上の部員ががんばっている。



きものを着て四季を楽しむ会 お月見会

忙しい毎日のほんのひと時。きものを着て優雅なお月見でリフレッシュ。茶室はストレスの解消にも役立ちます!?



中條晴夫

回想録

リレーエッセイ⑤



中條晴夫氏像における 詩性について

中條家より晴夫氏のお写真を拝見したとき、郷里香川の大起業家の並々ならない風貌が印象的でした。秋も終わりの夕刻、主なき番町のお宅にお邪魔した際、通された和室には主がいるかのように整然と、そして、御令室呈様が語られる晴夫氏のお話は、氏のイメージを描くには十分でした。

私はここ十数年の間、毎年一、二回ヨーロッパに旅をしています。ヨーロッパのどの街にも広場があり、その中央には歴史

池川 直
P R O F I L E
'58年高松市に生まれる。'83年第15回日展初入選、'94年第26回、'96年第28回の日展で各特選。現在、日展委嘱、日彫会会員、鹿児島大学助教授。
[主な作品]「大気」中央公園／「少年の記憶」峰山公園／「ランバル像」志度町／「父帰る」菊池寛通り／「未来への出発」高松一高(1998)他多数。

上の英雄のモニュメントが建っています。ヨーロッパの人々が街の中に彫刻を置き始めた歴史は、ローマ帝国の繁栄した時代にさかのぼり、とりわけ肖像彫刻に才を見せ、その人物像を今にも彷彿させてくれます。晴夫氏像の制作依頼を受けた年の冬にもふたたび訪れ、その表現技法を具に見てきました。ローマのパチカン美術館、パリのルーブル美術館においては様々な時代の様式の作品等。パリ、ブルデル美術館での十数点のベアトリーベン像は、私にここでの一連のベアトリーベン像は、彫刻家ブルデル(一八一六—一九二九)がベアトリーベン(二七七〇—一八二七)の生さざま、それを表した「楽曲」に對しての感動を彼流の「詩」におきかえベアトリーベンの実像に迫ろうとしたのです。

帰国した私は、早速制作を始めました。写真をもとにした制作でしたが幸いにも五十歳ごろから晩年までの長い期間と公務の場面と私的な場面の豊富な資料のおかげで、一つの私なりの詩的イメージをもって制作を進めていくことができたと思っています。初夏、アトリエのある鹿児島まで足を運んでいただいた際、粘土の像を見ての呈様の感想と、御令息の利祐氏の表情、特に目元と口元が晴夫氏にたいへん似ていることで、胸像制作の最終的な仕上げをすることができました。

経済界のみならずたいへん文化を愛された晴夫氏が、その心を形に表したこの庵とそのおもいが永遠に語り継がれますことを祈念してペンをおきます。

中條財団月釜・行事予定(十二月～二月)

十二月月釜

慌ただしい師走にひとときの安らぎをと「よびつぎ会」の先生方が流派を越えて楽しい茶会を企画
とき 平成十年十二月二十日(日)
席主 よびつぎ会

内容 新開美智子先生(裏千家)
美澤 包子先生(表千家)
山地 久子先生(官休庵)
山地美津江先生(表千家)
薄茶席・点心席
午前九時より八席
定員 各席二十五名(全席時間指定)
席料 三千五百円

二月月釜「梅見茶会」

とき 平成十一年二月十四日(日)
席主 石洲流香川県支部
三原宗憲先生社中
三原亭賣茶流

内容 一服席 石洲流
點心席
一煎席 三原亭賣茶流
定員 六席各二十名
席料 五千円
茶券ご案内

第一席 九時～十二時
第二席 十時～一時
第三席 十一時～二時
第四席 十二時～三時
第五席 一時～四時
第六席 二時～五時

すべて予約制となります
お申し込み、お問合わせは、
当財団事務局まで
☎(087)826・3355

茶約削りと竹花入制作講座「第二弾」

本年三月に続いて来春二月に三原先生がご来亭下さることになりました。自分で製作した作品で茶の湯を楽しむいかがですか？

講師 三原宥竹斎「略歴」奈良県在住。
伝統工芸指定。伝統工芸士。
茶道石洲流宗家十職。煎茶小川流職方。全国伝統工芸品展奨励
賞受賞。

とき 平成十一年二月六日(土)

午前の部 午前十時～
午後の部 午後二時～
内容 茶約の見方の話を交えながら茶約削りの実技。再挑戦の方は竹花入の製作希望可。

料金 茶約 七千円

(茶約二本筒の材料費道具の貸出しも含む)
竹花入 一万円～二万円
(選ばれる竹材によって変わる)

定員 茶約 午前・午後各二十名まで。
竹花入 十名まで

和菓子作り講座「一年間コース」

高橋初乃先生の和菓子作り講座は毎回楽しく開催されております。来年四月までの本講座も欠員ができましたので改めてご案内申し上げます。

とき 毎月第二金曜日 午前十時より
料金 一回三千円(材料費含む)

茶 華 道 ガ イ ド

香川いけばな連盟 ☎(087)861-3284

1/12~17 第18回香川いけばな展“花百景”三越高松店
10:00~18:00 前売り400円 当日500円

華道家元池坊香川県連合支部 ☎(0877)22-7203

1/10 讃岐支部 初生会 丸亀総合会館 ■

表千家同門会香川県支部 ☎(087)874-0458

2/14 表千家四季茶会 席主 黒島宗篤 本覚寺別院
9:00~16:00 500円

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

12/1 栗山祭 席主 西村ヤスエ 牟礼栗山堂
9:00~16:00 300円

12/6 月釜 席主 松下育代 本覚寺 9:00~15:00 500円

1/10 月釜 席主 岡田裕子 本覚寺 9:00~15:00 500円

2/7 月釜 席主 西村ヤスエ 500円

官休庵佐々木社中 ☎(087)821-8777

1/17 新春茶会 中條文化振興財団茶室「晴松亭」
9:00~16:00 700円

イ ベ ン ト ガ イ ド

高松市図書館 ☎(087) 861-4501

12/5 なかよしかみしばい ■
1Fおはなしのへや 14:00~
12/9 にこにこおはなしひろば ■
1Fおはなしのへや 15:00~
12/12 サンクリスタルコンサート ★
「ガーシェン&トシアン」メモリアルコンサート
3F視聴覚ホール 18:30~
12/19 クリスマスおたのしみ会 ■
3F視聴覚ホール 14:00~
1/9 おはなしのかけはし ■
1Fおはなしのへや 14:00~
1/13 にこにこおはなしひろば ■
1Fおはなしのへや 15:00~
1/16 なかよしかみしばい ■
1Fおはなしのへや 14:00~
1/17 かるた会 1Fおはなしのへや 10:00~ ■
1/23 伝々虫のおはなし会 ■
1Fおはなしのへや 14:00~
1/27~29 手づくり本年賀本講座 ■
3F第1集会室 10:00~

香川県県立図書館 ☎(087)868-0567

毎月第4土曜日

わくわくかみしばい会 ■
親子読書コーナー 14:30~

毎月第3土曜日

わくわくおはなし会 ■
親子読書コーナー 15:00~

12/15~1/31 展示「千支兎」展示コーナー 9:00~ ■

高松テルサ ☎(087) 844-3511

12/6 第9回高松短期大学OB会 13:00~ ●
12/12 高松一音楽科卒業演奏会 13:00~ ■
2/21 オイリュトミー公演 12:00~ ●

ミューズホール ☎(087)833-0013

12/6 モダンダンス土曜族展 18:30~ ●
12/12 Piacere ボーカルコンサート 17:30~ ●
12/19 香川クラリネットグループ 定期演奏会 18:30~ ●
1/16 明善高等学校卒業演奏会 14:00~ ■

四国ガス・ピボット ☎(087)821-0248

12/2 手作りみそ講習会 ●
10:00~・13:00~
12/8 時間をかけないおせち料理とあん餅
ずうに講習会 10:00~ ●
12/18・19 クリスマスケーキ講習会 10:00~ ●

ヨンデンスラザ ☎0120-373-168

12/1 第7回洋蘭展示会(四国蘭協会主催の洋蘭)
12/5 ふれあいミニコンサート ■
—バイオリンとフルートによる調べ—
クリシュナ・フルートアンサンブル 15:00~
12/8・9 染と織 趣味のグループ
(古代米、草木、ハーブなどで染めて織つた作品、古布裂織など)
12/12 エレクトリッククッキング 14:00~ ■
12/13 女性建築士による住宅相談(新築、増改築に関するなんでも無料住宅相談) 10:00~ ■
12/15・16 第9回チャールズ会絵画展
(チャールズ会25名による油絵)
12/19 ふれあいミニコンサート ■
—ウィンター・ジャズ・コンサート—
SWJO 15:00~
12/22 アートフラワー展
(四季折々の花達を布で表現した作品)
12/26 ヨンデンジョイントコンサート ■
—フュージャン・ロック・ポップス—
四国電力社員バンド総結集 13:00~

香川県県民ホール ☎(087)823-3131

12/3 アンサンブル・ウィーン=ベルリン
アクトホール 18:30~ ●
12/5・6 オペラ「魔笛」グランドホール ●
5日18:00~・6日14:00~
12/20 新春玉藻能 アクトホール 13:30~ ●
1/17 能楽鑑賞講座「能への第一歩」
北館5F多目的大会議室 14:00~ ★
2/9 システィーナ礼拝堂合唱団
グランドホール 18:30~

宮武画廊 ☎(087)851-2354

11/30~12/6 第35回高松フォトクラブ写真展
「木のある風景」
12/7~13 第22回雅潤会染色展
12/14~20 田園と海景 西岡公明展
12/21~29 三村昌哲・則子二人展
1/3~10 '99視友会 グループ展
1/11~17 第8回香川県立聾学校
幼児・児童・生徒作品展
1/18~24 香川大学美術部卒展
1/25~31 秋山和香焼締展
2/22~28 長谷川貴志個展

劇団

プチミュージカル公演予定

ミュージカル
「セルロイドの樹の下で」

12/27 香川県民ホール 15:00~
高松冬のまつり主催(要整理券)
2/7 三木町文化交流プラザ(三木文化ホール)
13:30開場 14:00開演
入場料 前売1,500円 当日2,000円
(当財団平成10年度助成対象事業)
チケットお問合わせ
劇団プチミュージカル事務局まで
TEL0879-42-3567

イベントガイド

坂出市民ホール ☎(0877) 45-1505

- 12/12 テアトルローマン演劇公演 13:00~ ■
12/27 四国新聞社 冬休み子供大会 8:00~ ■
1/24 藤間都美弥 日舞発表会 9:00~ ■
2/14 藤間勘清 日舞発表会 9:00~ ■

丸亀市民会館 ☎(0877) 23-4141

- 12/2~5 演劇鑑賞教室 ●
「ごんぎつね」「はたおり鶴」 9:30~
12/6 ふれあいのつどい(第2回) 12:00~ ■
12/11 香川市民劇場丸亀例会
「ばらばら」 18:30~
12/12 SKGリサイタル ●
12/20 香川県合唱祭 ■
12/25~26 第23回四国地区高等学校演劇研究大会 ■
1/4 新春交歓会 10:30~ ■
1/8 熊本マリ ピアノリサイタル 18:30~ ■
2/1 香川市民劇場丸亀例会 ●
「枯れすき」 18:30~
2/7 吾妻繁乃「おどりの会」 ■
2/14 第12回讃岐太鼓のつどい 13:00~ ★

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755

- ~12/20 開館7周年記念
荻須高徳と猪熊弦一郎 展示室 10:00~ ●
1/1~31 市制100周年記念 大藪雅孝展 ●
一浸透するまなざしー 展示室 10:00~
2/6~ スペースの散歩 猪熊弦一郎展 ●
展示室 10:00~

丸亀市立資料館 ☎(0877) 22-5366

- 1/9~2/28 「さくら・さく」展 一桜によせる日本人の心ー ■
第1展示室 9:30~
1/19~24 答礼人形「ミス香川」展 9:30~

観音寺市民会館 ☎(0875) 23-3944

- 12/6 PTCコンサート 中ホール 9:00~ ■
12/6 葫蘆島大遣返を観る会 ●
中ホール 18:00~
12/20 映画会 モスラ3 大ホール 9:00~ ●
12/26 冬休み子供大会 大ホール 13:00~ ■
12/27 管楽アンサンブル「音夢里」演奏会
大ホール 13:00~ ●
1/10 吉本新喜劇新春公演 大ホール 9:00~ ●
1/24 第11回新体操発表会 大ホール 9:00~ ■
2/7 全日本アンサンブルコンテスト ■
四国支部大会 大ホール 9:00~
2/28 第12回三豊民謡まつり 大ホール 9:00~ ■

大野原町文化協会 ☎(0875) 54-5711

- 1/24 第22回芸能祭 中央集会場 12:30~ ■

仁尾町文化協会 ☎(0875) 82-2143

- 1/2 囲碁大会 仁尾町公民館 9:00~ ●

多度津町民会館 ☎(0877) 33-3330

- 12/21 京都フィルハーモニー室内合奏団 ●
クリスマスコンサート 18:00~

綾上町教育委員会 ☎(087) 878-2305

- 1/1 高松空港と初日の出展望 高山航空公園 6:30~ ■

総合会館アイレックス ☎(0877) 86-6800

- 12/6 おはなしコンサート 小ホール 13:00~ ■
12/12 映画鑑賞会 モスラ3 ●
大ホール(3回上映) 10:00~
12/13 '98童謡フェスティバル in Ayauta ■
大ホール 13:00~
1/15 第22回全日本アンサンブルコンテスト ■
香川県大会 大ホール 10:00~
2/4 劇団四季ミュージカル公演 ●
大ホール 14:00~
2/6 香川県各種女性団体協議会 ■
(男女共同参画社会向上に向けて)
大ホール 10:00~
2/26 平成10年度生涯学習講演会 ■
常田富士男氏 大ホール 18:00~

飯山町教育委員会 ☎(0877) 98-7961

- 12/6 凧作り講習会 総合運動公園体育館
1/10 新春手作り凧あげ大会 土器川河川敷公園
1/10 新春囲碁大会 北地区公民館
1/9~10 新春将棋教室 滝将棋道場
1/17 新春カラオケ大会 南地区公民館
1/20~2/1 書道展 役場別館作品展示室
2/7 尺八吹初 北地区公民館
2/8~20 短冊展 役場別館作品展示室

三木町教育委員会・三木町文化協会 ☎(087) 898-1111

- 1/24 平成10年度文化財公開講座 ■
考古学「成重遺跡の発掘調査について」
三木町文化交流プラザ 13:30~
2/21 平成10年度文化財公開講座 ■
民俗学「暮らしの中の七不思議」
三木町文化交流プラザ 13:30~

牟礼町文化協会 ☎(087) 845-4111

- 1/20~25 七宝・袋もの作品展 ■
牟礼町石の民俗資料館 9:00~
1/30 牟礼町青少年健全育成連絡協議会・■
PTA連絡協議会主催 文化講演会
牟礼町公民館 13:30~

大内人形劇場 とらまる座 ☎(0879) 25-0400

- 12/12・13 (株)エツコ・ワールド ●
「いやだいやだのきかんぼひよこ」
10:30~・13:30~
1/15~17 糸あやつり人形劇団みのむし ●
「舌切りすずめ」(15日10:30~・
13:30~・16日10:30~・17日10:
30~・13:30~)
2/27~28 ねぎぼうずSAYO「三姫物語」 ●
10:30~・13:30~

志度音楽ホール ☎(087) 894-1000

- 12/6 第4回ひがしきぬぎ民謡のつどい 12:30~ ■
12/12 いきいき志度のつどいパートV ●
俵萌子講演会、その他 13:00~
12/13 第19回あおぞら会 ■
ピアノコンサート 14:00~
12/23 志度音楽ホール・新居浜青少年少女合唱団
交流記念リサイタル 14:00~ ■

- 12/27 モスラ3 映画会(1回目10:00~・
2回目12:00~・3回目14:00~) ●
1/24 My dear BACH ●
(クラシックコンサート) 14:00~
1/31 新春中・四国演歌の祭典 ■
(カラオケ) 9:30~

オリーフホール ☎(087) 861-0467

- 12/6 香川大学劇団エンブティ公演 ●
12/12 香川大学軽音 TAKE V演奏会 ●
12/22 GRAPEVINE コンサート ●
12/27 劇団暖団公演 ●
1/17 D-SHADE コンサート ●

玉藻公園管理事務所 ☎(087) 851-1521

- 2/14 菊作り講習会 披雲閣 杉

高松市美術館 ☎(087) 823-1711

- 11/3~12/13 開館記念10周年記念ロダン展 ●
2階展示室 9:00~
11/21~1/24 第4期常設展 1階展示室 9:00~ ●
1/30~ 第5期常設展 1階展示室 9:00~ ●

高松市市民会館 ☎(087) 839-2888

- 12/4 矢野顯子コンサート 19:00~ ●
12/6 高松幼稚園第44回おゆうぎ会
12/17 高松工芸高校映画教室 9:30~
1/20 「こども劇場」ミュージカル 10:00~
2/14 成長の家講習会 10:00~ ★

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

- 12/5~27 館蔵品による 藤川勇造展 9:00~ ●
12/12 重要無形文化財「組踊」 ★
特別鑑賞会 14:00~
1/6~17 第45回日本伝統工芸展 9:00~ ●
1/6~2/14 館蔵品による 香川の工芸展 ●
前期:香川工芸の魅力 9:00~
2/6~ 20世紀の扉展 ●
一いつとわたちの革命ー 9:00~
2/16~ 館蔵品による 香川の工芸展 ●
後期:音丸耕堂 9:00~

セントラルホールウィング ☎(087) 833-0005

- 12/5 「禅をきく会」講演会 13:30~ ■
12/13・14 茶道具展 セントラルギャラリー 10:00~ ■
12/20 リビングはんじゅく20シンデレラ ●
シアター(映画鑑賞会)
10:00~・12:00~・14:00~・16:00~
12/28 香川金管アンサンブル ●
第16回定期演奏会 14:30~
2/21 第28回ジュニアオリジナルコンサート・●
香川ブロックコンサート 14:30~

高松市民文化センター ☎(087) 833-7722

- 12/22 親子で星を見る会 5F 18:30~ ●
1/29~2/14 第27回天体写真展 1F ■

国際交流 in お茶室

この秋二度ほど、米国やフランスの先生方に財団で英語で茶道を紹介する機会がありました。裏千家国際セミナーで学んだことを中心に説明いたしました。皆さんは、お茶室やお庭やお道具の美しさに感心されたばかりでなく、和敬清寂や一期一会といった精神的な面や禅との関係に強く心をひかれたようでした。

例えば、和敬清寂の「清」はPURITYで、その意味は、露地とは世俗への執着を捨てる道なので、蹲踞では身体と同時に心を清め、塵穴でさらに物心両方の塵を払い清めて、鎧を脱がないと入れない狭い躰口で心の鎧も脱いで入るからこそお茶室の中では皆平等なのです、と申しますと皆さんやおら手帳を取り出され、亭主が客の前で帛紗で道具を清める時自分の心も客の心も清めているのです、と続けますと、とても熱心にメモを取られ、「和敬清寂の言葉それぞれをローマ字と英語でもう



実物の中で茶室小間の説明をする筆者

一度言って下さい」と日本語まで確認して記していられしていました。「茶道は日本の学校の科目になっていますか、ぜひすればいいのにね。」というご意見もありました。

後日、「今まで米国でお菓子を食べる時『お先に』なんて言ったことも聞いたこともなかったわ。自分がどんなに自己中心的な人間だったか深く考えさせられるきっかけになって、心からありがとうを言います。」「茶道の感謝や謙遜の心を生徒に伝えたいね。」「教育だけでなく日常生活にも茶道の心を取り入れたいな。」など、沢山のコメントをいただきました。「お土産にお茶の道具を買ったよ、これをあなたにぜひ報告しなくては、と思って。」という方もいらつしやいました。

このように、外国の方が、お茶の精神、ひいてはその奥にある日本文化や日本人の心に感動なさったことに、私自身大変感激いたしました。東西の心と心が響きあう温かいひとときを持てたことに感謝いたします。

葛原 由 起

編集後記

根と茎、上下に向かって伸びる。「屈伸」が寅年。平成十年は、それまでの不況や不安から徐々に解き放たれて、一時の不振はあったとしてもそれをバネにして、上昇の機運の波に乗る。という千支運勢であつたらしい。一年を終つてみると不況と社会不安は、解消するどころか心配の種は増えた。

この不況が始まったら、経済評論家や学者先生は公定歩合を下げたら、景気は一挙に上向くという大合唱があつた。公定歩合とそれに連動

する預金利子は、世界のどの国にも例を見ない史上最低のものとなつた。でも景気は、よくないどころかいつそう悪化した。

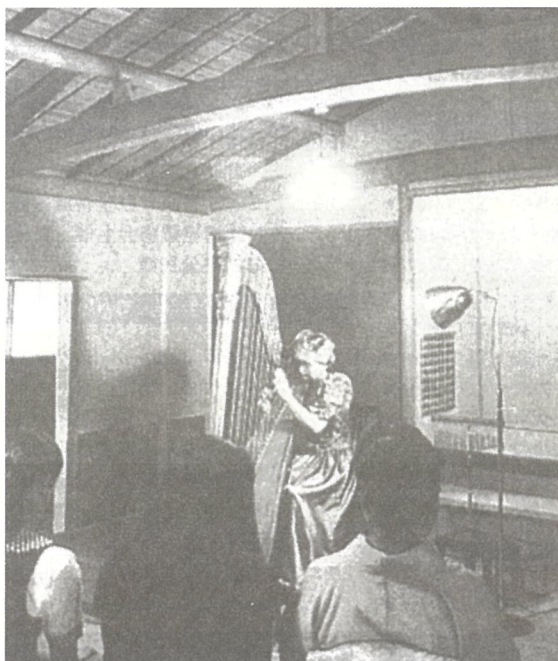
その次の打つ手は規制緩和だと、これまた大合唱。その結果は市街中心部は衰退し、中小業者の嘆きを聞く。

何を信じ、何を目標にして日々の生を営んでいけばいいのか。こんなのを目標を見失つた「混迷の世代」とでもいうのだろうか。

そんな年の秋の一日、財団賞を受けた長尾町の「あばれみこし」を見た。この大らかさ、長い歴史の間には筆舌につくせないほどの苦難に耐えてきたであろう農民や庶民たち息使いが、この素朴でエネルギーに充ちたものとして今日

茶室に響く ハープのハーモニー

「五感に届くコンサート」



茶室でハープ演奏やお香、懐石料理を楽しむ「五感に届くコンサート」が二十三日、高松市番町二丁目の中條文化振興財団「晴松亭」であつた写真。同財団が毎月開いている茶会を「秋分の日」にちなんで特別に趣向を凝らした催しで、約八十人が一回に分けて参加した。

ハープ演奏では、米国のチャロル・マクラフリンさんが、クラシックやジャズの小作品六曲を披露した。はじめた弦から放たれた音が十二畳ほどの茶室に広がり、木の床や天井に共鳴してハーモニーを構成していた。

マクラフリンさんは三週間の全国ツアーのため来日中で、東京、新潟、名古屋などを回り、この日が最終日だった。「能や歌舞伎の舞台上で演奏したことはあるけど、小さな茶室では初めて。客の近くで演奏できて、とても楽しめました」と話した。

まで伝承されてきたのであろうと、共感できるものがあり、胸が熱くあつた。

信じ難い世の中であるだけに、こんな時は「清閑」のひとつときを一杯の茶に憂さを晴らしたいものだとも思う。

来年は、双葉が土の上に顔を出すという「上伸」の卯歳。そうだ、これを信じて生きていこう。お元気で、佳い年をお迎え下さい。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一十二

(財)中條文化振興財団編集部

TEL(087)8266・3355

FAX(087)8266・2212